

2022年度 日本工学院専門学校											
建築学科											
実務演習 1											
対象	3 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	300	単位	10
担当教員	瀧川 慧			実務経験	有	職種	建築設計／一級建築士				
担当教員紹介											
ゼネコンにて、医療施設・商業施設・集合住宅等の意匠設計業務に従事したのち、大学での助手を経て本校の教師になる。建築設計やBIMを担当し、VR・AR等様々な最新技術を取り入れた教育を実践する。											
授業概要											
二級建築士の製図試験対策を通して、制限時間内に提出物を完成させた上で自己チェックができる能力を身に付ける。添削者の意見を聞き、自身の改善点を洗い出す。また、他者のエスキス図と自身の案を比較することで、良い点、改善すべき点を学び、問題文読解能力を身に付ける。											
到達目標											
学んだ知識を活かして、自主的にトレーニングを行い、レベルを上げる。また、学習の到達度確認を自身で行うことができる能力を身に付ける。限られた時間で課題をクリアするための問題解決能力を身に付ける。											
授業方法											
・基本操作を学ぶ回では、教員が解説を行い、学生は解説と同じように作業を行う ・解説と作業を繰り返し行い、スキルを身に着ける ・応用回では、今まで身に着けたスキルを用いて、各自モデリングを行う ・動画等を用いて、最新技術の紹介を行う											
成績評価方法											
試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する									
小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
成果発表（口頭・実技）	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する									
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
授業で使用するデータは各自USBメモリやクラウドなどによって適切に管理すること。説明中や授業と関係のない私語、受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。課題提出はデータにより行い、コピーなどによる不正な提出データはカンニング扱いとし採点されない。授業時数の4分の3以上出席しない者は単位取得することができない。											
教科書教材											
取り組む内容に基づき印刷資料、またはpdfデータを配布											
回数	授業計画										
第1回	ガイダンス 製図試験概要を把握し、試験合格に必要なスキルを理解する										
第2回	平面図の作図（1） 平面図の作図ポイントを身に付ける										
第3回	平面図の作図（2） 平面図の作図ポイントを身に付ける										
第4回	断面図の作図（1） 断面図の作図ポイントを身に付ける										
第5回	断面図の作図（2） 断面線、見えがかり線の書き分けができるようにする										

2022年度 日本工学院専門学校	
建築学科	
実務演習 1	
第6回	立面図の作図（１） 立面図の作図ポイントを身に付ける
第7回	立面図の作図（２） 例題を基に、立面図が指定時間内に完成できるためのポイントを理解する
第8回	面積表、設計主旨等の理解 図面以外に必要な記入項目について理解する
第9回	作図模擬（１） 単線プランを基にして一式図を時間内に完成させる
第10回	作図模擬（２） 単線プランを基にして一式図を時間内に完成させる
第11回	作図模擬（３） 単線プランを基にして一式図を時間内に完成させる
第12回	作図模擬（４） 単線プランを基にして一式図を時間内に完成させる
第13回	エスキス課題（１） エスキスの取り組み方について演習を通して学ぶ
第14回	エスキス課題（２） エスキスの取り組み方について演習を通して学ぶ
第15回	エスキス課題（３） エスキスの取り組み方について演習を通して学ぶ
第16回	学内模擬試験 時間内完成の徹底、及び他者の案との比較を行い、自身の到達度を確認する
第17回	エスキス課題（４） エスキスの取り組み方について演習を通して学ぶ
第18回	エスキス課題（５） エスキスの取り組み方について演習を通して学ぶ
第19回	エスキス課題（６） エスキスの取り組み方について演習を通して学ぶ
第20回	外部模擬試験への参加 外部で開催されている模擬試験を受験し雰囲気・課題レベル・他者の意見などを体感する
第21回	模擬形式 課題（１） 本番になぞらえた課題に取り組み、時間内に完成させ、自己チェックをし完成度を高める
第22回	模擬形式 課題（２） 本番になぞらえた課題に取り組み、時間内に完成させ、自己チェックをし完成度を高める
第23回	模擬形式 課題（３） 本番になぞらえた課題に取り組み、時間内に完成させ、自己チェックをし完成度を高める
第24回	模擬形式 課題（４） 本番になぞらえた課題に取り組み、時間内に完成させ、自己チェックをし完成度を高める
第25回	模擬形式 課題（５） 本番になぞらえた課題に取り組み、時間内に完成させ、自己チェックをし完成度を高める

2022年度 日本工学院専門学校	
建築学科	
実務演習 1	
第26回	模擬形式 課題（6） 本番になぞらえた課題に取り組み、時間内に完成させ、自己チェックをし完成度を高める
第27回	模擬形式 課題（7） 本番になぞらえた課題に取り組み、時間内に完成させ、自己チェックをし完成度を高める
第28回	模擬形式 課題（8） 本番になぞらえた課題に取り組み、時間内に完成させ、自己チェックをし完成度を高める
第29回	総 まとめ 今までの課題を比較し、エスキス図を見比べて総復習を行い試験前の総仕上げとする
第30回	自己答案の復元 本試験のエスキスを復元し、自己の完成度を確認するとともに他者の案と比較する